

SPS-2611・QSS-2611・3001 タンク液作成の準備/調液方法
【MPC仕様共通】

1. 薬品の準備

| | | | | |
|------------------|--------------|--------------|---------------|------|
| 処理薬品 (MPC-22) | P-1R (CD) | P-2R (BF) | P-3R (STB) | P-1S |
| 必要数量 | 1箱 | 1箱 | 1箱 | — |
| 使用本数 | 1本 | 1本 | 4本 | 2本 |

2. 調液割合

| | | | | |
|---------|-------|----------|----------|-----------|
| 母液タンク容量 | | P-1 (CD) | P-2 (BF) | P-3 (STB) |
| | | 14.9 L | 14.9 L | 34.5 L |
| 調液割合 | 補充液 | 6.0 L | 9.0 L | 34.5 L |
| | スターター | 1,639 ml | — | — |
| | 水 | 7.3 L | 5.9 L | — |

3. タンク液の調液

* 各母液タンクから処理ラックを抜き出す時、液が他の母液タンクに入らないよう十分注意してください。

* 調液に使用する容器(バケツ)は、CD用とその他用を分けてください。

- P-1 (CD)
- 容量 10L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 8L 用意します。
 - P-1R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 2. で作った液(P-1R 補充液)を CDサブタンクから 6.0L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約 4.0 L)
 - P-1S (スターター) 1,639mLを CDサブタンクから注入します。
 - 15~40℃ の水をオーバーフローするまで CDサブタンクから注入します。
(約 7.3 L)

- P-2 (BF)
- 容量 10L 以上の清潔な容器に 15~40℃ の水を 5L 用意します。
 - P-2R を1本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 2. で作った液(P-2R 補充液)を BFサブタンクから 9.0L 注入します。
残った液は補充タンクに入れてください。(約1.0L)
 - 15~40℃ の水をオーバーフローするまで BFサブタンクから注入します。
(約 5.9 L)

- P-3 (STB)
1. 容量 20L 以上の清潔な容器に 15～40℃ の水を 19.8L 用意します。
 2. P-3R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 3. 2. で作った液(P-3R 補充液)20L を 各STBサブタンクから全量注入します。
 4. 同じ容器に 15～40℃ の水を 19.8L 用意します。
 5. P-3R を2本投入し、1分程度攪拌して調液します。
 6. 5. で作った液(P-3R 補充液)を 各STBサブタンクからオーバーフローするまで注入します。残った液は補充タンクに入れてください。(約 5.5 L)

*サブタンクとは、ケミカルフィルターが装着されている箇所を指します。
ケミカルフィルターを抜き、そこから薬液を注入してください。

【 参考 】 補充液 作成方法

| 処理薬品名称 | 水 (15～40℃) | 薬品 | 仕上り量 |
|----------------------|------------|---------|------|
| MPC-21 P-1R (CD) | 8 L | P-1R 1個 | 10 L |
| MPC-21 P-2R (BF) | 5 L | P-2R 1個 | 10 L |
| MPC-21 P-3R (STB) | 9.9 L | P-3R 1個 | 10 L |

【 参考 】 1 L あたりのタンク液 調液割合

| 処理薬品名称 | 補充液 | スターター | 水 | 仕上り量 |
|---------------------|---------|--------|--------|------|
| MPC-21 P-1 (CD) | 400 mL | 110 mL | 490 mL | 1 L |
| MPC-21 P-2 (BF) | 600 mL | — | 400 mL | 1 L |
| MPC-21 P-3 (STB) | 1000 mL | — | — | 1 L |